

◎その他の状況報告・情報提供について

【教育総務課】

① 義務教育学校「歯舞学園」の開校について

(進捗状況)

- 令和元年7月17日、第一回目の保護者説明会を実施し、校名は「歯舞学園」とし、校歌、校訓、校章を継承することについて説明。校長からは1年生から4年生、5年生から7年生、8年生と9年生の4・3・2制の教育課程を編成することを説明。
- 令和元年9月4日、歯舞小中学校の全教員で管内初の義務教育学校である中標津町立計根別学園を視察。学校運営や教育課程の編成、行事など様々な点について研究交流を行いました。

(今後の予定)

- 令和元年12月5日、2回目となる保護者説明会を開催し、教育課程や行事等について説明するとともに、校名、校章、校歌、校訓について決定する予定としています。
- 令和2年3月 根室市学校条例を改正
- 令和2年4月1日 歯舞学園開校
- 令和2年7月以降 改修工事着工予定

② 学力向上対策事業について

- 学力向上補助教員の配置（予算7名、現在の配置校5校）
- 8月26日 石川県羽咋（はくい）市立羽咋小学校から教員2名を招聘し、成央小学校で模擬授業及び研究交流を実施、市内小中学校から70名の教員が参加し、学力向上対策先進地の授業方法について研鑽を深めました。
- 11月13日～16日まで、小中学校教員10名を羽咋市に派遣、羽咋小学校及び邑知中学校を視察研修、先進地の学校の授業や、学校運営、児童生徒の様子などを視察するとともに研究協議を行ってきたところであり、今後その成果を市内全体の学校に普及するとともに、来年度に向けた方向性を学力向上推進プロジェクトにおいて協議する予定です。
- 12月、標準学力検査を小学校1年生から中学校2年生まで実施
- 市独自の算数数学用教材「カルク」の印刷と配布

③ 学校給食の公会計化について

- 令和元年7月、文部科学省は教員の働き方改革の一環として、学校職員の現金の取扱いによる業務負担を減らすことを目的に、「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」を発出、学校給食費の公会計化を推進することが表明されました。
- 当市の学校給食費は私会計となっており、給食費の徴収はPTAが行うこととされていますが、実態は学校で給食費の現金取扱いを行っているところです。
- 道内では、170市町村の内107市町村で学校給食費の公会計化を実施しており、当市においても、今後、公会計化を進める必要があることから、公会計化を進めるための体制整備に向けた現状把握及び課題の整理を進めるとともに、組織体制等について具体的に検討し、市・市教委・学校による協議を進めていきたいと考えています。